

第2回岩見沢市地域公共交通活性化協議会

岩見沢市地域公共交通網形成計画(案)策定資料

～まちなかワンコインバス～



日時 平成27年10月7日(水) 10:00～

会場 岩見沢市役所 3階委員会室



1. 本実証運行の目的

岩見沢市の中心市街地における公共交通の利便性向上のため、中心市街地内路線バスの運賃をワンコインとする実証運行を実施する。

2. 岩見沢市のまちなかワンコインバス運行検討の経緯①

岩見沢市中心市街地の問題点として、以下の2点が挙げられる。

- ①岩見沢市中心市街地において「バスターミナルであえーる間」の徒歩による移動が多くみられる
- ②中心市街地内における路線バスの利用者が少ない

①岩見沢市中心市街地において「バスターミナルであえーる間」の徒歩による移動が多くみられる

中心市街地には、高齢者の方が多く訪れており、その目的は買物が主目的となっている。

また、平成25年度に実施した中心市街地の歩行者を対象に行った来街者アンケート調査によると、「バスターミナル」から「であえーる」間の移動が多くなっていることがわかる（右図参照）。

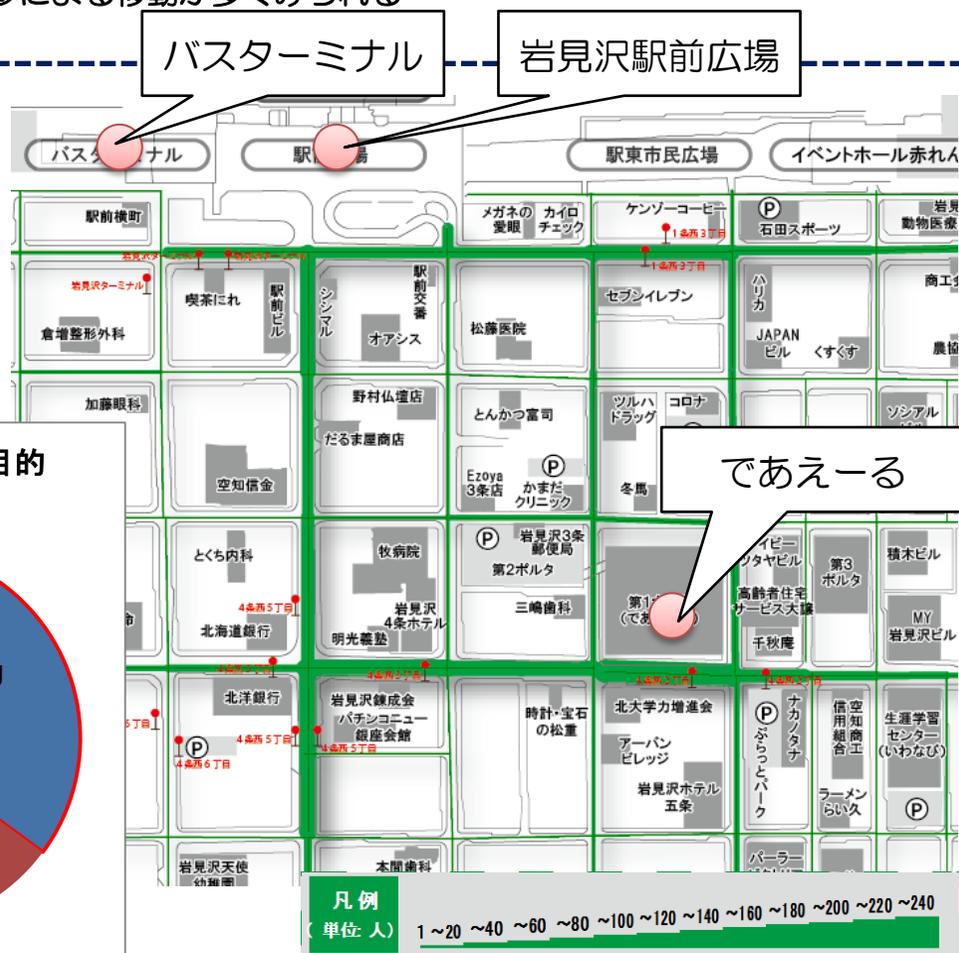
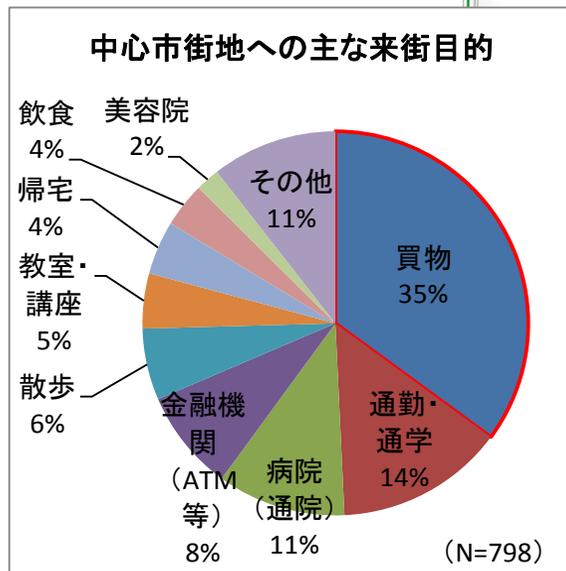
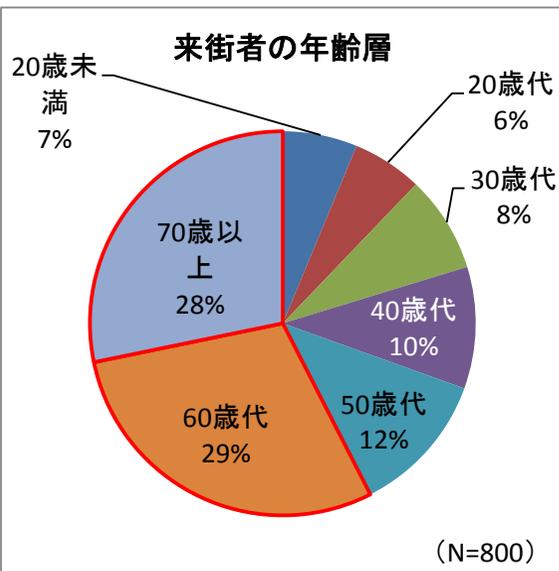


図 岩見沢市中心市街地の来街者の導線図

2. 岩見沢市のまちなかワンコインバス運行検討の経緯②

②中心市街地内における路線バスの利用者が少ない

調査実績：平成26年度 岩見沢市内路線バス乗降調査

中心市街地内を運行する路線バスのバス停別利用者数（岩見沢（夕）発：降車人数、岩見沢（夕）着：乗車人数）をみると、**中心市街地内に存在するバス停の利用者は少ない状況**となっている。



3. 実証運行に向けた協議事項

①及び②の問題点の解決及び中心市街地におけるバス利便性向上に向け、中心市街地における運賃をワンコインとした「まちなかワンコインバス（例：中心市街地の拠点施設である「であえーる」が存在する「4条西2丁目」から「岩見沢ターミナル」までの区間）」の導入を検討したい。

そのため、以下の内容で実証運行を実施することを想定している。

【協議事項】

○実証運行期間（予定）：11月中旬～3月下旬

○実証運行区間：

（例）「4条西2丁目」～「岩見沢ターミナル」

【該当路線】

- ◆月形線 ◆北村線 ◆桜木循環線
- ◆鉄北線 ◆栄町線 ◆岩見沢美唄線
- ◆三笠線 ◆志文団地線

○実証運行時間（予定）：

既存路線バスの運行時間と同様

○実証運行利用運賃（予定）：50円/回

※新たにバスを運行させるものではなく、**既存バス路線を活用し、対象区間内で利用される場合は、運賃50円とするものである。**

